

# シマフクロウの森保全活動 2009年植樹根室地区 2010年評価報告書

2010年10月23日

環境プランナー協議会

恒藤克彦

## ■ 評価の対象と目的

(財)日本野鳥の会が実施した「シマフクロウの森を育てよう! プロジェクト」による森づくりの2009年に植樹された根室地区、

- ①生物多様性保全からみた環境負荷の把握が実施されている
  - ②保全活動の記録管理(作業日誌等による)が実施されている
- ことによって、保全活動の管理の履歴が適切に記録されていることを評価する。

## ■ 実施した評価手続きの概要

評価手続きの概要は以下のとおりである。

1. 環境負荷の把握のための作業日誌の閲覧
2. 現地査察
3. 日本野鳥の会、現地管理者へのインタビュー

## ■ 結論

結論は以下のとおりである。

1. 提供された情報の内容は、認定基準を満たしている。
2. 環境プランニング学会「森づくり・里山里林保全アセスメントの手引き」の基準により98点/100点となり、昨年につづき「優良」と評価する。

以上

プロジェクト名 “The forest of the fish owl”プロジェクト  
 2009年植樹 根室地区

作成者 恒藤克彦

作成日 2010年10月15日

承認者

評点合計	98 点/100点
------	-----------

1. 活動の概要				適合項目数	4	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 活動目的	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹によって森林生物が生息可能な森をつくる</li> <li>・樹木を育成して、二酸化炭素を吸収する</li> <li>・絶滅危惧種シマフクロウを救う</li> </ul>						
② 活動計画	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年間の管理作業を計画している</li> <li>・100年後をめざしたイメージが作成されている</li> </ul>						
③ 活動地域	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡り鳥やタンチョウの生息地である国設鳥獣保護区風蓮湖畔に隣接した日本野鳥の会が所有する野鳥保護区</li> </ul>						
④ 実施主体者	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに多くの実績を残してきた(財)日本野鳥の会</li> </ul>						
項目評価コメント		・昨年と変更なく、良好に維持されている。							
2. 在来種、従来種、原種管理				適合項目数	3	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 樹種選定 種類、本数、産地、 種のもとの産地	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に繁殖するミズナラ、ヤチダモ、ハルニレ、ケヤマハンノキの4種類</li> <li>・苗木100本/1区画、約170平方メートル(立ち枯れ等のリスクを考慮した植栽率)</li> </ul>						
② 樹種の地域植生との 合致性(侵入性外来種、 GMO:遺伝子組換え体)	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木の育成地は近隣の別海地区</li> <li>・仕入先は別海町森林組合苗畑</li> </ul>						
③ 苗木仕入先情報	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海町森林組合 <a href="http://hokkaido.lin.gr.jp/sinrin/betukai/betukai.htm">http://hokkaido.lin.gr.jp/sinrin/betukai/betukai.htm</a></li> </ul>						
項目評価コメント		・昨年と変更なく、良好に維持されている。							
3. 保全活動による環境負荷				適合項目数	2	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 苗木の搬入経路	否		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい植樹の実施はない</li> </ul>						
② 苗木搬入におけるエネルギー使用量	否		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい植樹の実施はない</li> </ul>						
③ 植え付け作業におけるエネルギー使用量	否		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい植樹の実施はない</li> </ul>						
④ 付帯作業における資材使用量	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下刈り作業が実施された</li> <li>・資材の使用はない</li> </ul>						

⑤	付帯作業におけるエネルギー使用量	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.2トン車 55.0km(別海～槍昔を往復)、1.4トン車55.0km(別海～槍昔を往復)、と適切に記録されている</li> <li>・ 刈払機1台(使用燃料:混合)を3.5時間稼働、と適切に記録されている</li> </ul>
項目評価コメント		・ 下刈作業の環境負荷は適切に記録されている。		

4. 付随的に発生する環境負荷の処置				適合項目数	2	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点	
評価項目	適否	評点	観察事項の内容							
①	廃棄物発生量	適	5	・ 下刈作業で発生したササ等は、刈払機によって細かく裁断されその場に放置するため、廃棄物の発生はない						
②	廃棄物処理	適	5	・ 廃棄物の発生はない						
③										
④										
項目評価コメント		・ 下刈作業で発生したササ等は、その場に放置され腐葉土. となって良質な土壌をつくる。								

5. 森、里山里林の健全度				適合項目数	5	評点の平均値	4.6	評点	18 点/20点	
評価項目	適否	評点	観察事項の内容							
①	日が差し込む明るい森	適	5	・ 西側が道路に面しており、天空は明るく開いている						
②	植物の種類が多く、よく繁殖している	適	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミズナラは葉が落ちているが、下から新芽と葉が出てきている</li> <li>・ ヤチダモはしっかりと根付いている</li> <li>・ ハルニシも根付きがよい</li> <li>・ ハンノキはハンノキハンムシが付いて葉が食い荒らされているところがあるので、今後注意が必要</li> <li>・ 鹿の害もなく、順調に成育している</li> </ul>						
③	鳥の種類が多く、さえずりがよく聞こえる	否		・ まだ、森になっていないので評価は否とする						
④	落ち葉が堆積し、土壌がスポンジ状でふわふわしている	適	5	・ 下刈作業で発生したクマザサが小さく砕かれていることもあって、10cm以上の土壌がある						
⑤	土壌に棲む生き物が多い	適	5	・ 豊かな土壌で、土壌生物も多く生息して良好である						
⑥	美しく、気分が休まる	否		・ まだ、森になっていないので評価は否とする						
⑦	一本一本の木が元気で、炭素の吸収が盛ん	適	4	・ 概ね順調に育っているが、成育のおそい木もあってばらつきが発生している。植樹2年目であり、今後を見守る必要がある						
⑧										
項目評価コメント		・ 鹿やウサギの害もなく、順調に成育している。								

総合評価コメント

- ・植樹から2年目で、下刈作業が実施された。下刈作業の作業内容は、「植樹における環境負荷の把握」シートに詳細に適切に記録されている。
- ・下刈作業で刈り取られたササは細かく裁断されて、その場に放置され、腐葉土なる。廃棄物も発生しなくて、よい方法である。
- ・植樹された苗の成育は概ね順調である。ハンノキに発生したハンノキハンムシには今後、注意が必要である。

# シマフクロウの森プロジェクト 2009年根室植樹地区 2010年現地査察報告

恒藤克彦

2010年9月28日 14:30~15:00 天候：曇り

## 1) 植樹地の状況

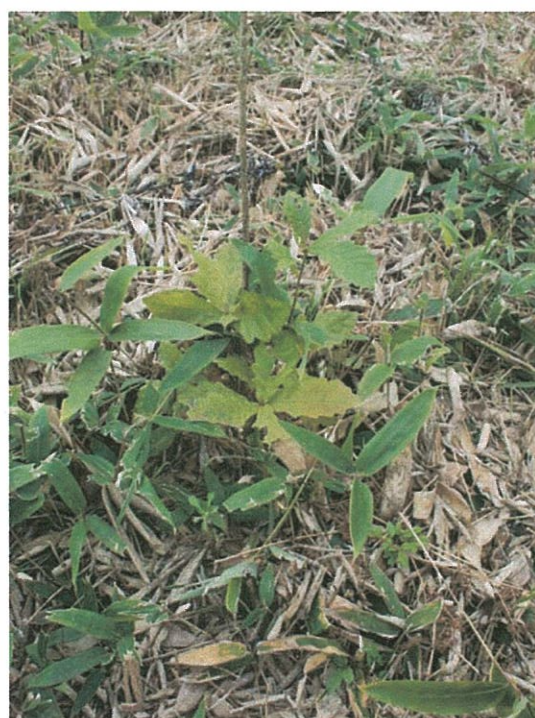
シカよけのネットは荒らされることもなく、植樹された苗の保護に有効である。



## 2) 植樹された樹木の状況

### ① ミズナラ

昨年の植樹のときから、先端部が枯れて葉が落ちているものが見られるが、根本から新しい葉が出てきており、活着はしている。来春以降の状況を見守る必要がある。



②ヤチダモ

葉は既に落ちているが、芽が見える。また、あまり大きく成長はしていないが、しっかりと根付いていると思われる。



③ハルニレ

根付きもよく、順調に成育している。



#### ④ケヤマハンノキ

4種類の樹木の中では、もっとも成長が早く、大きくなっている。将来は大きくなって風よけの役割を果たすことが期待されている。一部にハンノキハンムシが発生し、葉にダメージがある。しかし、新しい芽も出てきているので、大きな問題にはならないと思われるが、様子を見守る必要がある。



#### ⑤ハンノキハンムシ



#### ⑥下刈作業で刈られたクマザサ

小さく粉碎され、枯れ葉となって腐葉土になる。



#### 3) 現地調査状況

